



2022年12月12日

各 位

会社名 株式会社カラダノート  
代表者名 代表取締役 佐藤 竜也  
(コード番号：4014 東証グロース)  
問合せ先 取締役コーポレート本部長 平岡 晃  
(TEL 03-4431-3770)

## 子育て世代が選ぶ今年の漢字ランキングを発表！

2年ぶりに1位は「幸」がランクイン  
今年は「苦」「金」を挙げるママ・パパが増加

当社は、当社サービス会員を対象に「ママ・パパが選ぶ今年の漢字と気になるニュース」についてアンケート調査を実施しました。

詳細につきましては、添付のニュースリリースをご参照ください。

(添付)

子育て世代が選ぶ今年の漢字ランキングを発表！  
2年ぶりに1位は「幸」がランクイン  
今年は「苦」「金」を挙げるママ・パパが増加  
子育て世代の最新トレンド

以上

## 子育て世代が選ぶ今年の漢字ランキングを発表！

2年ぶりに1位は「幸」がランクイン  
今年は「苦」「金」を挙げるママ・パパが増加

子育て世代の最新トレンド

「家族の健康を支え笑顔をつやます」をビジョンとし、家族と向き合う全ての人のアシスタントとして心身ともに健康な生活を支援する事業会社である株式会社カラダノート（東京都港区/代表:佐藤竜也/以下当社）は、当社サービス会員を対象に「ママ・パパが選ぶ今年の漢字と気になるニュース」についてアンケート調査を実施しました。（調査期間：2022年11月30日～12月7日/N=202）

### ■ 今年をあらわす一文字、2年ぶりに「幸」が1位に振り返り

2022年	
1位	幸
2位	育・愛・変
3位	命
4位	産・新・苦
5位	金・成・初

アンケートに回答したママ・パパ202名のうち、1位の「幸」と回答したのは約10%、次いで2位の「育・愛・変」は約5%のママ・パパが選択しました。

この漢字を選んだ理由からは、「子どもを産み育て、自分より何よりも大切にかけがえのない存在だと思えた」「子供が生まれ、子育てをしていますが、色々な感情を抱くため、私自身の人間力も育てられていると思っています」など、妊娠・出産といったライフイベントを経て感じた幸せを言葉にされる方、子育てを通じた自分自身の成長に関するエピソードが多く挙げられました。

また、「幸」の漢字は、2018年・2019年・2020年に実施した当社調査にて毎回1位だったところ前回調査（2021年）では3位だったことから、このたびの結果から2年ぶりの1位となりました。

### ■ 2022年は「苦」「金」を挙げるママ・パパが増加

2020年		2021年		2022年	
1位	幸	1位	変	1位	幸
2位	変	2位	耐	2位	育・愛・変
3位	新	3位	幸	3位	命
4位	生	4位	育	4位	産・新・苦
5位	家	5位	忙	5位	金・成・初

ママ・パパが選ぶ今年の漢字の傾向として、過去調査結果ではランキング外だった「苦」「金」が5位内にランクインしました。この漢字を選んだ理由から、「インフレ、増税検討、コロナによる倒産など「お金」のことを考えなければならない1年だったと思います。」「コロナ禍の継続といろいろな物の値段の高騰で生活が苦しかった。」など、昨今の不透明な経済動向ならびに物価上昇の影響を受け、金銭的な負担が大きいことが伺えます。

## ■ ママ・パパが最も注目したニュースは、保育園バス置き去り事件

1位	保育園の通園バス置き去り事件
2位	保育園での虐待
3位	ロシアウクライナ情勢に関するニュース
4位	安倍元首相銃撃事件
5位	新型コロナウイルス関連ニュース
6位	ワールドカップ
7位	物価高騰に関するニュース
8位	統一教会に関するニュース
9位	知床観光船事故
10位	子どもに関するニュース（出生率過去最低を記録・理化学研究所による赤ちゃんを寝かしつけるコツについて等）

気になるニュースのランキングは、1位2位の保育園で起こった悲しい事件を挙げたママ・パパが全体の約2割を占めました。理由からは、「同じ歳くらいの子どもの親として他人事だと思えない」という声以外に「家の中など危ない箇所の見直しと対策をとりたかった」といった声も聞かれました。身近な危険と安全への備えに意識が高まる傾向にあることがわかりました。

## ■ 調査概要

調査名称：子育て世代が選ぶ今年の漢字と気になるニュース

調査期間：2022年11月30日～12月7日

回答母数：202名

調査方法：インターネット形式

## ■ カラダノートの妊娠・育児関連アプリについて

10年以上の妊娠・育児関連アプリの提供実績がある当社は、妊娠から出産・子育てまでを伴走した各種アプリケーションを提供し、2022年7月時点、妊娠・育児関連アプリ総合ダウンロード数は1,000万を突破いたしました。



アプリ詳細は当社のサービスページをご覧ください。

<https://corp.karadanote.jp/service>

## ■ 会社概要

企業名：株式会社カラダノート（東証グロース：4014）

本社：東京都港区芝浦3-8-10 MA芝浦ビル6階

代表：佐藤竜也

事業内容：家族サポート事業

ライフイベントマーケティング事業

家族パートナーシップ事業

URL：<https://corp.karadanote.jp/>